

巻頭インタビュー



ホールアース研究所
代表理事

山崎 宏さん

Interview

富士山は時間の経過とともに景色が移ろう



次世代へ大切に繋げたい 富士山と周辺の自然環境

富士山周辺の自然環境を学び、自然に親しむ体験を通して「自然の恵み」「自然の畏れ」を肌で感じて欲しいと1982年に創業したホールアース自然学校は、富士宮市柚野の自然環境の豊かな中山間地にあります。「肩書きはホールアース研究所ですが、通常はホールアース自然学校という呼び名です。」と山崎さんは語ります。

自然語で話す

これまでに非常に多くの方が自然体験プログラムに参加してくれていて、個人や家族だけでなく、学校での利用や企業研修の場としての利用も増えています。

私が常にキーワードとしている言葉は「自然語で話す」ということです。人間語は人同士のコミュニケーション言語、現代のITなどはテクノロジー言語です。では自然語とはどんなものかという、例えば富士山の頂上に傘雲がかかっているのを見ると「明日は雨だよ」ということが、自然と我々人間が話す「自然語」になります。



活動説明をする山崎代表理事。自身は野鳥観察が趣味

そうした自然からの問いかけやサインは、長い間、自然とともに暮らし生きてきた人間が本来一番身近に感じてきたものでした。しかし経済が豊かになり、山や川、森など自然の領域が減少してくるにつれて人も都市に出て、自然の恩恵や自然の怖さを現代の人々はあまり身近に感じることができなくなっただけだと思います。

自然語が絶える危機感

ふと自然に目をやると山に木々が覆い茂っていますが、果たして木々は健全に生育しているのだろうか？富士山の生物の多様性が失われていないだろうか？近年の大型台風や大雨、自然災害の気候変動による影響は

コロナ禍での試行錯誤

これから続くのか？私たちはこうした問いに自然語を学ぶ中で答えていかなければならないと考えています。プログラムに参加してくれる皆さんには、富士山周辺の自然環境を肌で感じていただきながら、自然からのメッセージを受け取る感性を磨き、自然語を身に付けて欲しいです。そして自然語を次世代に繋げるために、体験や活動を通して感じたことを多くの方に共有してもらおうと、美しい自然環境が守られていくことと信じています。

もちろんコロナ禍での私たちの活動に制限はありますが、以前



オンラインでも自然の魅力を伝えている



富士山麓の田畑や山林に新たな価値をつけている

のように一度にたくさんの生徒さんたちを迎えるということができません。オンライン技術などを活用して自然環境を画面上で見えて貰うことはできますが、やはり身体で感じるのが重要です。例えば樹木の様子をオンラインで見てもらったら、その後には実際に輪切りした木を宅配便で

お送りします。木の年輪を実際目で確かめてみたり、木の香りを実際に嗅いでもらったり、こうしたことが自然に触れるということになります。本当は以前のようにたくさんの人に来ていただいて、自然に触れた感動や感想を互いに分かち合っていたのが一番良いことだと思います。どこに感

中山間地域の課題解決

動したかは人それぞれ違うのでいろいろな感動があって、それを共感・共有することに教育的な効果が出てきます。これを私は「感動のおすそ分け」と呼んでいます。現在、当校ではコロナ禍の行動基準に準拠したやり方を実践していて、ご家族単位、お仲間同士など極めて少数でさらに距離をとって活動をしています。

当校のある富士宮市柚野地区も、高齢化が進み田畑や山林の維持管理が難しくなっています。そこで当校では地域からのご要望を受けて田んぼや畑での農作業、竹林や山林の間伐や整備などお手伝いをさせていただいています。中山間地農業には課題が多く第一次産業で生計を立てている方でも苦勞が多いそうです。

微力ではありますが、私たちが培ってきた経験やネットワークを活かしながら、企業研修や体験学習、ボランティア活動などと結びつけることで中山間地域の田畑や山林に新しい価値を生み出すことができ、それが地域の方に

喜ばれるのであれば三方良しの結果となります。

さいごに

仕事でもそうですが、やはり多くの人が関わったり、それぞれが助け合っていくことで新しいアイデアが生まれ組織も活性化します。企業、行政、地域コミュニティ、学校など多主体がかかわることが重要です。ホールアース自然学校のスタッフを地域内外の多様な人や組織に関わらせていただきながら、この美しい富士山と周辺の自然環境を次世代へ繋ぎ、大切に守っていきたいと考えています。



ホールアース自然学校

ホ

ールアース自然学校は、ここ富士山本校(富士宮市下柚野)のほか、沖縄、福島、新潟、岐阜にも展開し、それぞれの土地にある美しい自然を教材に自然体験活動の提供を実践しています。富士市立少年自然の家および丸火自然公園、田貫湖ふれあい自然塾もホールアース自然学校が運営を担っています。

やまざき ひろし
山崎 宏氏

1971年静岡県三島市生まれ。
ホールアース研究所代表理事。
幼少の頃より富士山麓の自然を遊び場にして過ごす。学生時代に「環境教育」に出会い、自然の魅力を伝えることに携わることを志し、2007年に入職。



ホールアース自然学校展望台で説明をする山崎代表理事